

歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	9	名称	The temple (寶珠寺)	
指定年月日	H30.10.19	所在地 (指定地)	奈良市紀寺町 663 番地 2	
指定建造物	本堂	建築年代・概要	昭和 29 年	木造平屋建、入母屋造、妻入、本瓦葺
指定建造物	山門	建築年代・概要	明治末頃	木造、薬医門、棧瓦葺
指定建造物	塀	建築年代・概要	昭和 29 年	土塀、棧瓦葺、東塀と西塀からなる
指定建造物	庫裏	建築年代・概要	昭和 29 年	木造平屋建、切妻造、棧瓦葺
位置 ・ 歴史	<p>この地は奈良町の南端にある京終駅の北東に位置し、江戸時代頃には梅園口と称されていたとも伝わるエリアである。近隣の道路の開通に伴い、現在のように住宅が建ち並んだとされ、現在、敷地は比較的広い道路に南面する。</p> <p>寶珠寺の沿革は不明だが、開基は 17 世紀にさかのぼる道場だったとも伝わる。明治 35 年に寺号を公称し、昭和 29 年 4 月にやや南の地から現在地に移転した。浄土真宗本願寺派の寺だったが、平成 27 年に土地・建物が競売に出され、地域の資産として継承するために現所有者が落札、購入した。現在は、寶珠寺に宗教活動の場を無償で提供する傍ら、本堂・庫裏・離れがゲストハウスや貸しスペースとして活用されている。</p>			
建物特徴 ・ 改修履歴	<p>本堂は、入母屋造、本瓦葺、妻入、正面向拝付の仏堂である。平面は、外陣の三方に縁を廻し、後方に三ツ並び形式の仏壇を備えた内陣を配する。内陣廻りの要所を金箔で荘厳し、内外陣境には両折棧唐戸を吊る。以上、小規模な浄土真宗本堂の特徴をよく示す。</p> <p>庫裏は、切妻造、棧瓦葺の簡素な建物である。内部はゲストハウスとして活用するため間仕切りや天井を撤去して改装されているが、通りに面する南妻は、白漆喰の真壁に柱・梁・束を現した、庫裏らしい意匠である。</p> <p>山門は、一間一戸薬医門で、昭和 29 年の移転の際、旧地から移されたと伝える。明治 35 年の寺号公称に伴い建てられたものかもしれない。小規模ながら、大棟両端に鯨瓦を載せ、扉は八双金具や乳金具で飾り、脇に潜り門を備えるなど、本格的かつ丁寧な造りの門である。両脇の土塀とも、伝統的な町寺の表構えを伝えている。</p> <p>改修) 昭和 57 年 本堂内陣、庫裏、寺内外修理。平成 28 年 庫裏間仕切・天井撤去等改修 平成 29 年 歴史的風致形成建造物保存整備事業 (現状維持修理：庫裏・塀)</p>			
活用	<p>寶珠寺の宗教活動のために無償提供しつつ、ゲストハウス・レンタルスペース事業を実施し、定期的に地域住民も参加できるイベントを開催中。</p>			
価値	<p>伝統的な町寺で、地域の行事の場としての性質を維持した上で活用しており、奈良町のコミュニティにみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。</p>			



歴史的風致形成建造物 指定台帳

